

鹿島硬式野球部とかずさマジック 都市対抗野球大会で熱戦を繰り広げる



鹿島硬式野球部の応援に市民応援団など1万人が駆けつけた



新日鉄住金かずさマジックが黄獅子旗を獲得

2013年7月12日から東京ドームで開催された「第84回都市対抗野球大会」に鹿島硬式野球部とかずさマジックが出場しました。

鹿島硬式野球部は、強豪の三菱重工名古屋に1回戦で敗れましたが、これまで3度「黄獅子旗」(第3位を獲得するなど全国で名を知られています。かずさマジックはチーム名のかずさ君津、木更津、富津、袖ヶ浦の4市)が示す地域密着型の広域チームで、今年は13年振りのベスト4進出を果たし、黄獅子旗を獲得する健闘をみせました。

新日鉄住金のスポーツ活動支援

新日鉄住金は野球、柔道、バレーボール、ラグビー、サッカーを中心に、地域密着型スポーツチームを支援しています。またスポーツチームを通じた子ども向けスポーツ教室やジュニアチームの指導、運動施設の地域住民への開放を進めています。野球チームは毎年、都市対抗野球大会に出場しており、柔道は西山将士選手がロンドン五輪で銅メダルを獲得。堺ブレイザーズは2012/2013 V・プレミアリーグ男子バレーボールで優勝を、またサッカーJ1リーグの鹿島アントラーズは、2012ヤマザキナビスコカップで2年連続、過去最多の5回目の優勝を果たしました。釜石シーウェイブスは被災地の皆さんの支援を背に受けてトップリーグ昇格を目指しています。

伝統の柔道 西山将士がオリンピック銅メダル

新日鉄住金柔道部は広畑製鉄所を拠点に活動し、これまで全日本実業柔道団体対抗大会の一部で31回の優勝を飾るなど伝統を誇ります。過去には東京五輪銀メダリスト神永昭夫、バルセロナ五輪金メダリスト吉田秀彦を輩出、2012年ロンドン五輪では西山将士選手が90キロ級で銅メダルを獲得しました。また今年、西山大希選手(筑波大学)が入部するなど、期待の若手も加わり、日々稽古に励みます。



全日本実業柔道団体対抗大会での吉永慎也選手



西山将士選手がロンドン五輪で銅メダル獲得

写真提供：共同通信社



堺ブレイザーズ 2年ぶり5度目のV達成

2012/13V・プレミアリーグ優勝



堺ジュニアスポーツ教室 2012 の様子

「常勝新日鉄」といわれた新日鉄バレー部を母体に、かつては植田辰哉(前全日本男子監督)、柳本晶一(前全日本女子監督)、眞鍋政義(全日本女子監督)や中垣内祐一を擁し、現在も石島雄介選手など全日本代表を輩出する堺ブレイザーズは、2012/13Vプレミアリーグで2年ぶり5度目の優勝を決めました。

また、バレーボール競技者が減少する中、中学生男子を対象としたジュニアブレイザーズ(堺、北九州、佐賀)に拠点による育成にも力を入れています。



釜石シーウェイブス RFC トップリーグ入りを目指す

大漁旗が舞う応援風景



2012年11月11日クボタ戦



子どもたちとのふれあいタグラグビー

日本選手権7連覇の実績を持つ「北の鉄人」新日鉄釜石ラグビー部を受け継ぎ、2001年に日本初の地域共生型クラブチームとして創設された釜石シーウェイブス。東日本リーグ降格という前途多難なスタートから徐々に順位を上げ、2012年シーズンは4位となりました。

東日本大震災で一時活動継続が危ぶまれましたが、地域の皆さんと協力しながら、復興のシンボルとして悲願のトップリーグ入りを目指します。

鹿島アントラーズ FC 常勝集団 J1 制覇を狙う



大迫勇也選手

サッカーJリーグの鹿島アントラーズFCは、住友金属蹴球団を母体とし、1991年Jリーグ発足時に、鹿嶋市、神栖市を中心とする地域のフランチャイズチームとして誕生しました。以来、日本のトップクラブチームの一つとして日本サッカー界を牽引。2012ヤマザキナビスコカップを制し、Jリーグ、天皇杯を合わせた国内3大タイトルで16回目の栄冠に輝いています。



2012 ヤマザキナビスコカップ優勝